

「横浜市営交通カレンダー2025」を 発売します！



毎年ご好評をいただいている「市営交通カレンダー」の2025年版を10月1日（火）に発売します。
写真家の森 日出夫（もり ひでお）氏が撮影した、2025年に20周年を迎える「あかいくつ」を新港心頭9号岸壁（新港心頭客船ターミナル）に並べた写真が表紙を飾るほか、上永谷車両基地における保守点検車両を用いた作業風景や、市電保存館に展示されている無蓋貨車の写真を掲載しています。
さらに、一般公募でご応募いただいた214作品の中から採用された12作品が、各月を彩ります。
市営交通の魅力・横浜の街の魅力がいっぱいに詰まった、お薦めのカレンダーです！

1 「横浜市営交通カレンダー2025」概要

- 仕様 壁掛けタイプ、正方形（25cm×25cm）
- 発売日 令和6年10月1日（火）
- 販売価格 1部1,300円（税込）
- 販売数 2,500部（売り切れ次第終了）

2 「横浜市営交通カレンダー2025」販売場所

- 地下鉄12駅事務室
（湘南台・戸塚・上永谷・上大岡・関内・横浜・新横浜・センター南・センター北・あざみ野・中山・日吉）
- お客様サービスセンター（上大岡・横浜・センター南）
- はまりんコンビニ
（戸塚駅店・上大岡駅店・横浜駅店・新横浜駅店・中山駅店）
- 横浜市電保存館（磯子区滝頭） ○沿線の一部書店
- 横浜市歴史博物館（ミュージアムショップ・オンラインショップ）ほか



横浜市営交通カレンダー2025 表紙
（写真家・森 日出夫氏 選考・監修）

※詳細は、（一財）横浜市交通局協力会ウェブサイトをご確認ください。
<https://www.kyouryokukai.or.jp/2024/09/19/cal2025-2/>

※環境に配慮し、持ち帰り用の袋を用意していません。マイバックの持参にご協力ください。

【森 日出夫氏 全体講評】



市営バスや地下鉄のことをよく調べ、好きなものを撮ったという思いの伝わる作品が数多く寄せられました。毎回、新しいアングルに挑戦した作品がどんどん出てきて、選考するのも嬉しいですね。

他の人が撮った写真をたくさん見ることにより、センスが磨かれ、さらにいい写真が撮れるようになります。今回は、横浜の四季と街並みを面白い視点で楽しむことが出来る、12点の作品を選ばせていただきました。

昔からあるものと新しいものが共に映える、横浜独自の文化が写されたカレンダーです。

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



3 カレンダー掲載写真（応募者数：79名／応募作品数：214作品の中から採用）

 <p>(撮影者：荘 健太さん) 1月「白色に染まりつつ」</p>	 <p>(撮影者：原 裕延さん) 2月「虹色ハンマーヘッドとバイサイドブルー」</p>	 <p>(撮影者：衣笠 創太さん) 3月「夕陽に燃える新緑」</p>
 <p>(撮影者：横井 規和さん) 4月「桜とブルーライン」</p>	 <p>(撮影者：加賀谷 翔吾さん) 5月「夕暮れの大さん橋を背に」</p>	 <p>(撮影者：sakurasou3636さん) 6月「黄昏の車両基地」</p>
 <p>(撮影者：帆苺 悟さん) 7月「桜木町ターミナル」</p>	 <p>(撮影者：風間 裕吏さん) 8月「ヨコハマブルーに染まる夏」</p>	 <p>(撮影者：長谷川 美佐代さん) 9月「霧の朝」</p>
 <p>(撮影者：TAKA BLUEさん) 10月「港町 YOKOHAMA」</p>	 <p>(撮影者：MNさん) 11月「晩秋、夕方の出庫風景。」</p>	 <p>(撮影者：関 俊一さん) 12月「バイサイドクリスマス」</p>

4 応募状況等

募集期間：令和6年6月14日（金）～7月25日（木）

応募人数：79名（年代：10歳未満：1名、10代：15名、20代：9名、30代：6名、40代：9名、50代：10名、60代：11名、70代：13名、80代：3名、未記入：2名）

応募作品数：214作品

お問い合わせ先

（市営交通カレンダー2025全般について）

一般財団法人横浜市交通局協会 企画推進課長代理 松本 守弘 Tel 045-315-6266

（駅事務室での販売等について）

交通局総務課長 入江 洋二郎 Tel 045-671-3132



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

